

岩手県内優良材の展示即売会に出品

令和3年度秋季優良材展示即売会が、矢巾町煙山の盛岡木材流通センターに於いて11月16日から開催され、入札最終日の18日に、遠野支署の有志職員と共に現地調査して参りました。

センター敷地内の土場には、岩手県内各所から出品された総計1万3千本以上の様々な樹種の優良材がところ狭しと並べ立てられ（実際には寝ている状態の丸太ですが）、広大な敷地を埋め尽くしておりました。

我が遠野支署管内の伐採箇所から出材されたクリやナラ等の広葉樹丸太も出品しており、高値で落札されることを願いつつ、他所からの出品物件を見て回りました。

それぞれの物件には入札で用いられる出品番号のプレートが貼り付けられておりましたが、樹種、径級、長級のみがプロフィールの全てでした。ここに追加情報として産地や出品者が余白に明記されていれば多くの参加者がその丸太に対してより興味を抱けたらと惜しまれます。

個人的に興味を惹かれた物件が、推定樹齢が七百年と目される（出品者の談）天然スギの大径材でした。直径1メートルを超える巨大なスギ丸太はあいにく芯部が空洞でしたが、特殊な用途を見出して札を入れてくれる方が現れたら面白いと思いました。

入札結果は140万円（単価は152,000円）と、高額な落札価格でした。幸いにして、遠野支署より出品された物件もまた、全量落札となりました。

伐採現場から木材流通センターまで丸太を運ぶにあたり輸送コストは生じますが、全国各地から木材の買いつけの為に人が集まるこのような機会（ちなみに遠方からのweb入札も可能です）に出品することで、山元（伐採現場近くの土場）での販売と比較してより有利な価格で丸太を販売することが期待出来ます。国有林野事業はかつて国営企業の一つでしたが、一般会計化された現在でも利益を求めらることに変わりはありません。

今後も丸太の有利販売を常に念頭に置きつつ業務を遂行するという気持ちを新たなものにし、支署職員一同会場をあとにしました。



木材流通センター内に並ぶ出品材



遠野支署管内で生産された広葉樹材



樹齢七百年(?) 長さ9mのスギ巨木